

# 関中学校だより



関中学校HPにアクセス

✿ 第4号 ✿  
令和7年5月7日発行  
亀山市立関中学校  
文責：堀内

## しゅうがくりょこう とお まな 修学旅行を通して学んだこと

4月22日(火)～24日(木)の3日間、沖縄に修学旅行に行ってきました。学年評議委員会のメンバーが昨年度から話し合いを重ね、修学旅行の目的や目標、ルールやマナーを決めました。生徒たちの決めた修学旅行の目的は、①沖縄戦を通して平和について学ぶ②みんなが楽しめる修学旅行にする、でした。その目的を達成するための目標、ルールやマナーも自分たちで決めました。生徒たちは、修学旅行中も、毎日、自分たちの行動を振り返り、できなかったことをできるようにするための行動について話し合いをしました。修学旅行2日目、3日目と日が経つにつれ、集団行動や班行動もしっかりできるようになり、全力で、みんなで楽しもうとする姿が多くみられました。

今の時代は、情報があふれ、たくさんの知識をいつでも得ることができます。しかし、実際に体験することで、さらに自分事に捉えたり、自分の考えを持つことができるようになります。修学旅行では、体験活動を通して様々なことを生徒たちは考えました。いくつかの感想を紹介します。

## たいげんかつどう かんそう 体験活動の感想

○ガマの天井が焼かれて黒くなっていたり、爆風によって物が張り付いていたことが印象に残りました。そういう「跡」は長時間残り、私たちに戦争の激しさや惨さを伝えてくれているのだと考えました。また、脳症などの重傷患者たちが光の全くない場所に隔離されていたという話も衝撃でした。ガマの中が暗いことは分かっていたけれども、実際に体験してみると、今までに感じたことのない暗闇でとても怖くなりました。この中で生徒隊が毎日看病したり、兵士の方たちは眠れない日が続いたりしたんだと考えると、何も言葉が出ませんでした。

○ひめゆり平和祈念資料館での説明のなかで、「無知は恐ろしい」という言葉が印象に残りました。戦争以外のことにもこの言葉は活かせると思います。「知りませんでした」では済まないことがこの世の中には多くあります。いろいろなことを、誰かから教えてもらうばかりではなく、自分から積極的に学んでいきたいです。自分自身で考えることの重要さが分かりました。



いとかず 係数ガマにはい まえ 様子



ひめゆり 平和祈念資料館

○シュノーケリングを体験しました。水着の上に着るウェットスーツが自分が思っていたよりパツパツで、その分海の上でぷかぷか浮くことができ、安心して楽しむことができました。最初は怖くてインストラクターのボードにつかまって恐る恐る泳いでいたけれど、どんどん慣れて一人でもスムーズに泳ぐことができ、めっちゃめっちゃ楽しかったです。海にはきれいな魚がたくさんいてみんなで喜びました。



シュノーケリング体験前準備の様子



## 平和宣言について

平和祈念堂（平和祈念公園内）では、生徒会長が代表して、これから平和な未来を創り上げていくことを誓う、平和宣言を読み上げました。その後、生徒全員で島唄の合唱をしました。堂内で響く島唄の歌声はとてきれいで、生徒たちの平和を祈る気持ちが伝わってきました。



『平和宣言』80年前、沖縄で起こった悲劇、沖縄戦。私たちは学びました。兵士だけでなく、何の罪もない人々が一瞬にして命を奪われたこと。想像もできない苦しみと悲しみ、そして集団自決という痛ましい出来事があったことを。私たちの心は深く揺さぶられました。

今の私たちには、温かい家族がいて、平和な日常があります。しかし、沖縄で私たちと年の変わらない子どもたちが、家族や故郷を失い、絶望の中で生きていたかもしれない。そう思うと、この平和は決して当たり前ではないと気づかされます。多くの尊い命の上に築かれた、かけがえのないものなのです。



島唄の全員合唱の様子

過去を学び、悲劇を深く知ることは、未来への責任です。私たちは、二度とあのような悲しみを繰り返してはならない。その強い思いを胸に、平和な未来を創り上げていくことを誓います。

今、私たちにできることは、過去の出来事を決して忘れず、語り継ぐこと。そして、世界で苦しむ人々に心を寄せ、自分にできる小さなことから行動することです。互いを尊重し、理解しようと努めること。それが、平和な未来への希望の光となると信じています。

私たちは、この平和な今を未来へとつなぎます。言葉と心で人と人を結び、手を取り合って、誰もが安心して生きられる世界を目指します。未来への希望を胸に、私たちは平和への道を歩み続けることを、ここに誓います。』

修学旅行でのさまざまな体験を通して、生徒たちは戦争を自分事として捉えることができ、戦争当時の様子を思い浮かべ、自分の今の生活と重ね合わせる貴重な経験となりました。「真実を知らないことが一番の不幸であると思った」「正しい情報を知らなければ正しい判断ができないので、一つの情報だけではなく、たくさんの視点から見て判断するようにしたい」など、生徒たちは自ら考えました。今後の生活にぜひ、活かして行ってほしいと思います。生徒たちは集団行動もばっちりできてすばらしかったです。みんなにとって思い出に残る修学旅行となりました。